

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	結		
○保護者評価実施期間	令和7年1月30日		～ 令和7年2月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和7年2月20日		～ 令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員の数が多く、お客様への手厚い支援が出来る。 職種が連携しお客様の特性に応じた支援が出来る。	多 お子さまひとりひとりの特性を理解し、お子さまに合わせた療育支援を丁寧に支援を行えるように、療育活動や遊び等に工夫している。	職員一人一人がさらなるスキルアップに努めていく。
2	保護者とのコミュニケーションが良好である。	保護者の方の思いに寄り添うように努めている。保護者の方の思いを逃さずにしっかりと受け止めることが出来るように意識しながらお話を伺い、職員同士で共有し対応していくようにしている。	職員がしっかりと知識をつけながら、保護者の方の相談にしっかりと耳を傾けて、更に丁寧に対応できるようにしていく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ご利用いただいているお子さんの特性が多岐にわたっており、職員のスキルが追いついていない部分がある。	職員が学ぶ場が十分ではない。 職員が学びたいという思いの積極的なアピールが少ない。職場はアピールしやすい環境が十分ではない。	職員一人一人が研修などに積極的に参加しスキルアップを図り力をつけていく必要がある。そのために職員が研修などに参加しやすい環境を整備していく必要がある。
2	他機関との連携が十分ではない。	職員の数が多いという強みがあるにもかかわらず、職員が外部に出る機会を十分に作れていない。	他機関との連携を研修や協議会などに積極的に参加し関係を作っていく。
3			